

公立病院改革プランの概要

団 体 名		岩国市					
プ ラ ン の 名 称		岩国市病院事業改革プラン					
策 定 日		平成 21年 3月 31日					
対 象 期 間		平成 21年度 ～ 平成 23年度					
病院の現状	病 院 名	岩国市立錦中央病院					
	所 在 地	山口県岩国市錦町広瀬1072-1					
	病 床 数	一般病床58床					
	診 療 科 目	内科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、脳外科、皮膚科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		岩国市は、平成18年3月20日、1市6町1村の合併により、山口県下最大の面積を有する市となりました。旧錦町には他に病院はなく、救急告示病院として、地域住民の救急医療を取り扱うとともに、国保直診としての使命を果たす。					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		地方公営企業法第17条の2の規定による一般会計の負担の原則を基本とし、総務省自治財政局長通知に基づき、一般会計繰出基準とする。					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率(%)	110.0	102.4	102.2	102.2	102.0	
	職員給与費比率(%)	47.1	51.4	51.8	51.8	51.8	
	病床利用率(%)	95.3	87.1	88.0	88.0	88.0	
	患者1人1日当り診療収入(入院)	17,650	16,100	16,100	16,100	16,100	単位:円
	患者1人1日当り診療収入(外来)	9,074	8,800	8,800	8,800	8,800	単位:円
上記目標数値設定の考え方		経常収支比率102%を目標に各々の数値を設定した。 (経常黒字化の目標年度:20年度)					

				団体名 (病院名)	岩国市(岩国市立錦中央病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
平均在院日数		31.4	27	27	27	27	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	<p>○人事考課 平成18年1月に国や地方において能力及び実績に基づく人事管理として人事評価制度が導入されたが、これは職員の意識改革を行って人材の育成を図ることにより組織力を高めて意向との趣旨であり、勤務成績が給与・賞与に反映される仕組みとなっている。岩国市病院事業においては現在、試行中で将来的に検討していきたい。</p> <p>○民間委託の推進 既に医事業務、給食、清掃業務など幅広く外部委託を行い、人件費や経費の節減に努めているが、今後は、コストダウンやサービス改善に繋がるよう委託仕様書の見直しを行う。</p> <p>○医薬品・材料等調達効率化方策 市町村合併におけるスケールメリットを追求する。</p>				
		事業規模・形態の見直し	推計人口動向、市立病院の年齢階層別患者数から、2015年の患者数はあまり現在と変化しない状況が推測され、現状を維持する中でさらなる患者ニーズに応えられる病院経営を目指す。				
		経費削減・抑制対策	病院事業費用に大きくウエイトを占める医薬品、診療材料等の共同購入によるスケールメリットを活かした契約単価の低廉化を図るとともに、医薬品については、ジェネリック医薬品の採用を増加させることにより経費の節減に努力する。また、投資に当たっては、自己の国保病院の財政規模、役割に応じたものにし、過剰な投資は避ける。減価償却費が将来にわたって経営を圧迫することがないように努力し、財政の健全性を保つ。				
		収入増加・確保対策	病院の収入は良くなったが国保財政は悪化した、というのでは岩国市としてみればかえってマイナスである。収入確保対策としては、請求漏れ・減点对策の徹底、未収金対策等に努める。また、検診業務の積極的な取組みを行い国保特別会計の負担増とならないよう努める。未収金対策では、徹底した収納管理対策とともに、悪質な者に対する法的措置、あるいは、患者の経済的な環境等を把握し、速やかに福祉部署と連携する等といった方策を実施する。				
		その他					
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	86.5%	18年度	93.2%	19年度	95.3%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等						

団体名
(病院名)

岩国市(岩国市立錦中央病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	岩国保健医療圏には、公立病院が3病院所在しており、南部に国立病院機構岩国医療センター(580床)、山代地域に岩国市立錦中央病院(58床)、岩国市立美和病院(60床)である。	
	都道府県医療計画等における今後の方向性		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 2008年11月21日	<内容> 再編・ネットワーク化は、実施しない方向で協議した。
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	病院にて点検・評価の上、議会、住民へ公表	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年9月頃	
その他特記事項			

(別紙)

団体名 (病院名)	岩国市(岩国市立錦中央病院)
--------------	----------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	713	747	651	657	657	657
	(1) 料 金 収 入	678	711	612	620	620	620
	(2) そ の 他	36	36	39	37	37	37
	うち他会計負担金	36	36	39	37	37	37
	2. 医 業 外 収 益	84	83	72	68	68	64
	(1) 他会計負担金・補助金	80	79	68	64	65	61
	(2) 国 (県) 補 助 金	1	1	1	1	1	1
	(3) そ の 他	3	3	3	3	3	3
	経 常 収 益 (A)	798	830	723	725	725	721
	入	1. 医 業 費 用 b	708	720	673	679	681
(1) 職 員 給 与 費 c		356	352	335	340	340	340
(2) 材 料 費		214	229	215	218	218	218
(3) 経 費		116	117	104	102	102	102
(4) 減 価 償 却 費		21	20	19	18	20	20
(5) そ の 他		1	0	1	1	1	1
2. 医 業 外 費 用		36	35	33	31	29	27
(1) 支 払 利 息		20	18	16	14	12	10
(2) そ の 他		17	18	17	17	17	17
経 常 費 用 (B)		744	755	706	709	709	707
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	53	75	17	15	16	14	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)						
	2. 特 別 損 失 (E)						
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)						
純 損 益 (C)+(F)	53	75	17	15	16	14	
累 積 欠 損 金 (G)	180	105	88	72	56	42	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	416	500	522	540	561	580
	流 動 負 債 (イ)	35	34	34	34	34	34
	うち一時借入金						
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)						
	不良債務差引 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)] (オ)	△ 381	△ 467	△ 488	△ 506	△ 527	△ 546
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	△ 65	△ 85	△ 21	△ 19	△ 21	△ 19	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	107.2	110.0	102.4	102.2	102.2	102.0	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$							
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	100.8	103.9	96.7	96.8	96.5	96.5	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	50.0	47.1	51.4	51.8	51.8	51.8	
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額 (H)							
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$							
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率							
病 床 利 用 率	93.2	95.3	87.1	88.0	88.0	88.0	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
区分							
収 入	1. 企業債						
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金	19	20	25	29	26	27
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金						
	6. 国(県)補助金						
	7. その他						
	収入計 (a)	19	20	25	29	26	27
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a)-(b)+(c) (A)	19	20	25	29	26	27	
支 出	1. 建設改良費		0	8	16	8	8
	2. 企業債償還金	28	30	32	31	33	35
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他						
	支出計 (B)	28	30	40	47	41	43
差引不足額 (B)-(A) (C)		9	10	15	18	15	16
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	9	10	15	18	15	16
	2. 利益剰余金処分額						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
	計 (D)	9	10	15	18	15	16
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)							
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)							

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 益 的 収 支	(32,560)	(55,402)	(0)	(0)	(0)	(0)
	116,060	115,062	107,421	101,313	101,636	97,802
資 本 的 収 支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	18,940	19,938	25,079	28,687	25,864	27,198
合 計	(32,560)	(55,402)	(0)	(0)	(0)	(0)
	135,000	135,000	132,500	130,000	127,500	125,000

(別紙)

団体名 (病院名)	岩国市(合計)
--------------	---------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	1,390	1,406	1,295	1,315	1,315	1,315
	(1) 料 金 収 入	1,319	1,335	1,219	1,241	1,241	1,241
	(2) そ の 他	71	71	76	74	74	74
	うち他会計負担金	71	71	76	74	74	74
	2. 医 業 外 収 益	183	182	172	165	164	159
	(1) 他会計負担金・補助金	172	170	160	154	153	147
	(2) 国 (県) 補 助 金	1	1	1	1	1	1
	(3) そ の 他	9	11	11	11	11	11
	経 常 収 益 (A)	1,573	1,588	1,467	1,480	1,479	1,474
	入	1. 医 業 費 用 b	1,443	1,453	1,404	1,405	1,404
(1) 職 員 給 与 費 c		704	704	691	692	690	688
(2) 材 料 費		468	473	453	456	456	456
(3) 経 費		221	226	212	210	210	210
(4) 減 価 償 却 費		48	46	45	44	45	42
(5) そ の 他		3	4	3	3	3	3
2. 医 業 外 費 用		62	59	56	54	51	49
(1) 支 払 利 息		25	22	20	18	15	13
(2) そ の 他		37	37	36	36	36	36
経 常 費 用 (B)		1,505	1,511	1,460	1,458	1,455	1,447
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	68	76	7	22	24	26	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	68	76	7	22	24	26	
累 積 欠 損 金 (G)	180	105	88	72	56	42	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	853	953	971	1,008	1,052	1,097
	流 動 負 債 (イ)	70	67	69	69	69	69
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不良債務(オ) {(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}	△ 783	△ 885	△ 902	△ 939	△ 983	△ 1,028	
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	△ 83	△ 102	△ 17	△ 37	△ 44	△ 45	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	104.5	105.1	100.4	101.5	101.7	101.8	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$							
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	96.3	96.8	92.2	93.6	93.7	94.0	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	50.7	50.1	53.3	52.6	52.5	52.3	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0	0	0	0	0	0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0	0	0	0	0	0	
病 床 利 用 率	84.8	86.6	80.9	83.0	83.0	82.9	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること
例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	岩国市(合計)
--------------	---------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
区分							
収 入	1. 企業債	0	0	0	0	0	0
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	32	34	34	37	33	34
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	5	4	3	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0
	収入計(a)	37	38	37	37	33	34
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分(c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c)(A)	37	38	37	37	33	34	
支 出	1. 建設改良費	14	22	18	23	12	12
	2. 企業債償還金	40	38	41	39	41	42
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
	支出計(B)	54	60	59	62	53	54
差引不足額(B)-(A)(C)		17	22	22	25	20	20
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	17	22	22	25	20	20
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
	計(D)	17	22	22	25	20	20
補てん財源不足額(C)-(D)(E)		0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)		0	0	0	0	0	0
実質財源不足額(E)-(F)		0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(32,560) 243,207	(55,402) 240,993	(0) 235,982	(0) 227,627	(0) 226,821	(0) 221,182
資本的収支	(1,049) 31,793	(56) 34,007	(0) 34,018	(0) 37,373	(0) 33,179	(0) 33,818
合計	(33,609) 275,000	(55,458) 275,000	(0) 270,000	(0) 265,000	(0) 260,000	(0) 255,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。